

# 現 地 状 況 報 告 書

おかやま国際協力大使 氏 名 井上 満  
赴任国 ミャンマー

ミャンマー赴任後 9 か月経過での、活動状況を報告します。

最初に、岡山県へ物品要望書にて要望したなわとびを郵送していただき、無事こちらに届き、すでに生徒達の指導で活用させていただいています。県民の皆様、本当に、大変ありがとうございました。

活用状況については、後日、活用状況報告書にてお伝えしたいと思います。

さて、前回の報告書から 3 か月、様々な出来事がありました。

まず、自分の指導が少しずつ評価され、全コーチを対象に、みんなで指導方法をシェアするワークショップを開催していただきました。スポーツ省の役職の上の方も来られ、賛同していただき、良かったです。

活動では、10月23日～31日まで、首都のネピドーに任地ヤンゴン校を含め 6 地域からスポーツ養成学校の生徒が集まり、学校対抗試合が開催されました。

日頃の練習の成果をこの試合に出し、精一杯頑張っている姿は、どこの国でも変わりなく、感動するものです。

自分は期間中、なるべく様々な種目を観戦、空手、柔道、ボクシング、アーチェリー、バスケット、バレーボール、サッカーなどを観て回りました。

試合の中で、生徒達は自分が指導してきた言葉、“Never Give Up”などを言っていてとてもうれしく思いました。

先生たちも、“お前が来ると、生徒が力出して勝てるから来てくれ”と言われ、嬉しいのと、でも、時間がかぶって観に行けない種目があり申し訳ない気持ちとで少し複雑でした。

ヤンゴン校としては、たくさんの金メダルを獲得し、生徒達の笑顔はうれしく、校長先生からは自分の指導を認めてもらえ、とてもよかったです。

その学校対抗試合の前 2 週間ほど、ミャンマー柔道連盟からお声をいただき、連盟主催のセミナーに講師として参加しました。

午前中に 1 時間半ほど、毎日、指導の仕方、生徒への声掛けの仕方、補助の仕方、レベルに合わせた指導の仕方、実際に自分が任地で行っている指導方法等、様々な講師として指導しました。おかげさまで参加者の皆さまにはおおむね好評をいただき、自分たちの指導に活かします、という言葉을いただきま

した。

また、要請外の活動として、11月に、岡山県から環境教育の知人、岡山大学の生徒が任地を訪問してくれましたので、任地を案内しました。その後、彼等はミャンマー国内を旅行して楽しんで帰国してくれました。岡山県とのつながりが少しでも持ててよかったです。今後も学校単位での交流なども考えているので、実現したら、また報告いたしますし、もしも岡山県で何かしらミャンマーと交流を持ちたい県民の方がおられましたら、ご連絡をいただけたら嬉しいです。

岡山県とのつながりでもうひとつ。岡山大学に留学していたミャンマー人の友達とこちらで再会し、彼も自分の任地を見学してくれ、その後一緒に食事をする等、交流をはかれました。

あとは、ミャンマーの満月のお祭りにあわせて学校でお祭りがあり、日本の学園祭みたいで楽しい時間をすごせました。

また、生徒達がテスト期間で活動が殆どないので、ミャンマーで有名な海に行き、少しリフレッシュしたりできました。

この海、本当にきれいなので、ぜひ岡山県の皆さまにお越しいただけたらと思います。

また、現在ミャンマーの世界遺産は、ピイの古代遺跡群、のひとつだけなのですが、生徒のスカウト事業の同伴で近くに行ったため、仕事が終わったあと、その遺跡群を見学させてもらいました。前回行ったバガン王朝よりさらに前にあった王朝の遺跡ですごく感動しました。

次の報告は1年経過になると思いますので、よろしくお願いします。

1：学校対抗試合での生徒達



2：ンガパリ：ミャンマーの海



3：満月の祭りでの学校内での祭り



4：柔道連盟への指導



5：岡山県民の来麵



6：なわとびドネーション



7：アイデアシェアワークショップ

